

31. 丸太町病院 整形外科（脊椎センター、人工関節センター、手・足の外科） ジュニア・レジデントプログラム

①指導責任者 盛房周平（丸太町病院 整形外科副院長）

②期間： 1～2ヶ月（選択）（2年目選択）

③目標

一般目標

多様な運動器疾患の中でも、手・足・脊椎に特化した疾患の低侵襲最先端の手術治療（膝・股人工関節置換術を含む）に触れることで、運動器疾患の最新手術療法により早期に ADL（日常生活動作）を回復させることが QOL(生活の質)を高めることを体験認識する。同時に運動器救急外傷に対応できる基本的診療能力を習得する。

個別目標

- ・ 患者および家族の不安に配慮した注意深い対応ができる。
- ・ 指導医・上級医、他科医師と良好なコミュニケーションがとれ、連携して診療を行える。
- ・ 病態に応じた適切な検査指示ができる（血液、尿、関節液、穿刺液、病理等）。
- ・ 疾患および身体部位に応じた画像検査を指示し読影ができる。
- ・ 整形外科診に必要な身体診察ができる（MMT 徒手筋力テスト、ROM 可動域、頸部・腰部・肩部・肘部・手部・股部・膝部・足部に関する診断徒手検査）。
- ・ 上級医の指導のもと簡単な縫合処置ができる。
- ・ 整形外科の手術に要求される高度な清潔を達成した手術手洗いを確実にできる。
- ・ 簡単な手術助手ができる。
- ・ 以下の手術を体験する。

脊椎

（ナビゲーションシステムを使用しスクリュー固定を行う脊椎後方固定術
（背中の筋肉・骨をできるだけ温存し内視鏡、顕微鏡を使用した脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニア手術

膝・股

（低侵襲な人工関節置換術

足

（外反母趾矯正骨切り術

（足関節靭帯再建術

（足関節鏡視下手術

手

(手根管症候群・肘部管症候群などの絞扼性神経障害

(手関節鏡視下手術

- ・ 後療法の重要性を理解し、理学療法・作業療法の適切な処方ができる。
- ・ 1本杖、松葉杖、コルセットの処方が適切にできる。

④ 実地臨床訓練

- ・ 入院患者を指導医・上級医の指導のもとで担当する。
- ・ 担当症例の手術に限らず、手術に助手として参加する。
- ・ 外来診療の予診（指導医・上級医の指導のもと画像を指示し、理学所見をとる）を行い、外来診療を介助する。
- ・ 救急外傷症例に対して、上級医のもと適切な診察、処置を行う。
- ・ 上級医の指導のもと担当患者さんの手術記事作成する。
- ・ カンファレンスで担当患者の要旨を発表する。
- ・ 主要疾患についてレポート作成を行う。

週間スケジュール

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
AM	9:30～ 手術	8:30～ 外来 救急外来	8:30～ 総回診 9:30～ 手術	8:30～ 外来 病棟回診 救急外来	9:30～ 手術	8:30～ 外来 救急外来
PM	手術 カンファレンス	病棟回診 救急外来	手術	病棟回診 救急外来	手術	病棟回診 救急外来

休みは4週8休（日祝日含む）

救急当番は週午前1枠、午後1枠を担当

総回診は医師、看護師、リハビリ（PT、OT）、相談員（MSW）が参加

⑤ 評価

- ・ 指導医・上級医が実地臨床訓練、カンファレンスで形成的に評価する。
- ・ 研修終了時に指導医はEPOCに評価を記録する。